



大きな声で防火の誓い 幼年消防クラブのつどい

10月23日、白石市のひかり幼稚園にて「第16回幼年消防クラブのつどい」が2年ぶりに開催されました。
このつどいは、幼年期における火災予防の啓発を目的として開催されているもので、こどもたちは紙芝居や歌をとおして火に対する知識を学び、「ぜつたいに火あそびはしません。」と大きな声で元気に防火を誓いました。

また、バケツリレーや、皆で力を合わせての放水体験、消防車との記念撮影など色々な体験をすることができ、子どもたちにとって楽しい一日となりました。



生徒の感想

- ・防火服を着たり、はしご車に乗ったり、とても貴重な経験ができた。
- ・消防士は火災対応だけでなく、建物の避難経路が確保されているかなど、火災を予防する取り組みも行っていて、火災現場以外での仕事もたくさんあるのだと感じた。
- ・消防士への夢が強くなった。仙南広域で学んだことは忘れません。

高校生が消防士体験

柴田高等学校の2年生3名と、蔵王高等学校の2年生6名が当組合で就業体験を行いました。
今回は、大河原消防署と白石消防署で救急・予防・救助訓練や放水訓練などを体験しました。



詳細はこちら
(組合HP)

7月23～25日



柴田高等学校生徒(大河原消防署)

9月3～4日



蔵王高等学校生徒(白石消防署)

9月4～5日



蔵王高等学校生徒(大河原消防署)